

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	573 登記事務事業					
予算科目	01-080101-13 登記事務に要する経費			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	道路用地係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	不動産登記法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民等
目的	道路拡幅業務に伴う用地買収、未登記処理等の様々な登記を行う。
概要 (取組内容)	取得した道路用地の登記処理（分筆、所有権移転、地目変更等）を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	9,207	7,909	7,624	7,969	8,034	
	決算額	(千円)	7,225	6,937	7,148	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7,225	6,937	7,148	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,824	5,599	7,572	7,572	7,572	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.80	1.10	1.10	1.10
		正職員時間外勤務	(時間)	25.90	54.30	33.12	33.12	33.12
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	嘱託登記申請数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	488.0	507.0	360.0	374.0	0.0	0.0
指標の概要	分筆・所有権移転・その他登記の申請数の合計とする。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	用地買収に要する幅広い知識習得のため、民事関連法令、登記、税務に関する研修等に参加した。 令和4年度中登記件数374件のうち未登記は、19筆の調査・測量、15筆の分筆・所有権移転登記を行った。
成果	用地買収は完了しているが地権者との調整に時間を要し登記未了もしくは物件移転未了が数路線、または、難航したため用地取得が完了していない路線が1路線あったが、その他の路線については工事施工前に所有権移転登記完了かつ物件移転完了のため、工事に着手できる状況を提供できた。 未登記案件を適切に処理した。
課題	業務 用地買収着工前に登記または相続、補償対象物件に関する地権者との調整を行う必要がある。 引き続き賃借地の買収に努める必要がある。
	組織、予算等 用地取得・補償から登記まで、専門性を要し、かつ、幅広い知識の習得が必要である。
改善目標	関連部署との綿密な事前調査と法務局と用地買収前段の課題の解消を図り、円滑な用地買収に努める。 民法改正や不動産登記法改正に伴い、民事関連法令の知識習得に注力し係内の業務知識の底上げを図る。 未登記案件の適切な処理実行。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	578 道路新設改良事業					
予算科目	01-080202-11 道路新設改良に要する経費			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	工務係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路法 等			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民等
目的	未改良の生活道路を改良し、道路としての機能を高め、道路網の整備を図ることにより市域の土地利用、経済活動を活性化し、地域社会の環境を改善する。
概要 (取組内容)	地元要望を踏まえ、一定の基準の下に必要性を評価し、生活道路の整備を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	1,334,242	827,955	806,449	996,044	773,631	
	決算額	(千円)	815,514	554,636	610,357	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	213,094	99,183	91,668	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	602,420	455,453	518,689	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0	0	
人件費	人件費計	(千円)	42,875	45,673	45,446	45,446	45,446	
	内訳	正職員従事割合	(人)	6.00	6.40	6.30	6.30	6.30
		正職員時間外勤務	(時間)	845.60	796.90	1,040.07	1,040.07	1,040.07
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	市道の改良率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	58.7	59.2	59.4	59.6	0.0	0.0
	指標の概要	市道の総延長に対し、道路の規格を改良した割合					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・工事発注においては、前年度以上の件数について早期発注を行った。 ・前年度並みの予算を確保し、概ね計画通り事業を実施した。 	
成果	計画的に道路改良事業を実施することにより、安全かつ円滑な交通を確保することができた。	
課題	業務	年度内完成を目指し、早期発注したが、地権者及び関係機関との調整等により、一部が繰越事業となっている。
	組織、予算等	数多くの地元要望がある中で、安定的に予算を確保し、計画的に整備を進めていく必要がある。
改善目標	繰越事業の削減に向け、特に工事発注前の地権者及び関係機関協議を計画的・効率的に実施していく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	579 緊急地方道整備事業					
予算科目	01-080203-11 緊急地方道整備に要する経費			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	工務係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路法等			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民等
目的	地域住民より強い延伸要望があり、延伸整備により交通分散化を図り通学者及び地域住民の安全を確保するため。
概要 (取組内容)	現一級幹線市道を一般県道館野牛久線から国道408号まで延伸整備する事業である。 ・市道1-71号線整備事業 L=852m

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	107,801	44,726	85,688	112,214	124,034	
	決算額	(千円)	39,498	2,488	51,429	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	30,997	2,488	5,557	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	8,501	0	45,872	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,541	4,214	4,358	4,358	4,358	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.60	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	57.30	46.80	111.25	111.25	111.25
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	改良整備率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	96.0	100.0
	実績	58.0	58.0	58.0	58.0	0.0	0.0
指標の概要	市道1-71号線の総延長に対し改良した割合						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	財源となる補助金の計画的確保が可能となるよう、茨城県と協議・調整を行った。 軟弱地盤対策を考慮し、工事発注を行った。	
成果	茨城県との協議・調整を行った結果、財源となる補助金を計画通り確保することができ、課題となっていた軟弱地盤対策を考慮した工事発注が可能となった。	
課題	業務	次年度工事において、載荷盛土を撤去する予定であるが、残土搬出先が未確定のため、茨城県等と協議を行い、早期に計画を決定させる必要がある。
	組織、予算等	財源である補助金の確保が課題である。
改善目標	計画的に関係機関協議を進め、令和6年度の全線供用開始を目指す。 引き続き茨城県と協議を進め、補助金の計画的な確保に努める。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	580 河川整備事業					
予算科目	01-080301-12 河川整備に要する経費			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	工務係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	河川法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民等
目的	台風・大雨等による河川の氾濫、土砂崩れを最小限に食い止め、適切な防災対策を行い、住民被害の軽減を図る。
概要 (取組内容)	集中豪雨、台風等の際し、八幡川の洪水や安全性を向上させるため、護岸等の整備を進める。 ・八幡川河川改修事業 L=1,100m

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	216,325	130,894	35,775	55,560	46,100	
	決算額	(千円)	71,344	109,887	33,341	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	22,944	19,487	8,741	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	48,400	90,400	24,600	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,609	3,653	2,179	2,179	2,179	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.50	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	84.80	97.10	55.32	55.32	55.32
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	河川の改修整備率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	9.0	9.0	18.0	25.0	33.0	42.0
	実績	9.0	9.0	18.0	25.0	0.0	0.0
指標の概要	八幡川河川の未改修区間の整備率						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的に予算を確保し、河川改修工事を進めた。 ・ 今後移設が必要となるパイプライン、下水道について施設管理者と協議を行った。 	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河川改修工事を計画的に進めたことにより、河川の氾濫や増水に対する安全性を高めた。 ・ 移設対象となる施設の管理者と事前協議を行ったことにより、移設スケジュール等の情報共有を行うことができ、今後実施予定の移設設計における事前準備を行うことができた。 ・ 難航地権者と交渉を重ね、1筆の用地買収が完了し、計画的に河川改修事業を進めることができた。 	
課題	業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近年の異常気象等による河川の氾濫等により護岸の破損等が懸念されるため、早急な対応が必要。 ・ パイプライン移設や下水道切り回し等、関係機関協議に時間を要することが予想されるため、早期に協議着手する。
	組織、予算等	災害予防の観点から、早急に事業を進める必要があり、計画的な予算確保が必要。
改善目標	今後の整備計画に影響が想定される関係機関との協議を早急に進める。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	582 街路整備事業					
予算科目	01-080402-11 街路整備に要する経費			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約	45			係名	街路係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民等
目的	市民が快適で安全・安心を実感できるような都市基盤の整備を図る。
概要 (取組内容)	都市再生整備計画に基づき、街路灯整備、歩道改修、歩行者通行帯整備及び電線共同溝の整備を進めている。また、防災安全交付金事業による通学路整備として、歩行者通行帯整備を実施している。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	644,607	679,517	579,282	429,444	448,521	
	決算額	(千円)	434,504	411,624	552,096	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	29,929	29,572	86,483	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	404,575	382,052	465,613	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	14,892	13,067	12,894	12,894	12,894	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.10	1.80	1.80	1.80	1.80
		正職員時間外勤務	(時間)	248.90	315.10	260.07	260.07	260.07
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	街路灯設置工事の整備延長 (m)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	921.0	1,836.0	316.2	0.0	0.0	0.0
	実績	1,387.6	1,467.0	316.2	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	—					

2	指標名	側溝入替工事の整備延長 (m)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,626.0	604.0	1,409.0	2,350.0	1,870.0	1,820.0
	実績	696.2	931.0	1,249.0	2,404.0	0.0	0.0
	指標の概要	—					
3	指標名	自転車通行帯整備工事の整備延長 (m)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	1,723.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	1,723.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	—					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	歩行者通行帯整備について、今年度は「通学路安全プログラム」に位置付けられている路線に加えて、都市計画区域内の路線についても補助金を活用し、整備を行った。	
成果	街路灯設置、歩道改修及び、歩行者通行帯設置を実施し、安全安心な住環境及び交通環境が整備された。	
課題	業務	歩行者通行帯については、未着手の地区もあり、未着手の地区についても整備の検討を行う必要がある。
	組織、予算等	歩行者通行帯については、補助金を活用し事業を推進しており、補助金の内示額により事業規模が左右されるが、各工事の規模を調整し、年度内での適正工期を確保する必要がある。
改善目標	歩行者通行帯については、未着手の地区も測量設計等を行い整備を推進し、各工事の規模を年度内での適正工期が確保できるよう調整し、繰越を回避する。また、自転車レーンについては、関係各課と整備路線の検討をしていく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	584 上河原崎・中西地区スマートIC設置事業（（仮称）つくばスマートIC）					
予算科目	01-080412-11 圏央道推進に要する経費			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	事業調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等	道路法等			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民等
目的	つくばエクスプレス沿線開発の土地区画整理事業を含む地域の活性化、つくば市整備地域における企業活動の活性化、高速道路利用圏域の拡大、観光振興の支援及び災害時における防災機能の強化を図る。
概要 (取組内容)	（仮称）つくばスマートICは、平成29年7月に新規事業化箇所を選定後、東日本高速道路株式会社と基本協定を締結し、路線測量、土工詳細設計、用地測量、土地評価算定業務等を実施してきた。早期の供用開始に向けて、東日本高速道路株式会社とともに事業を進めている。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	383,526	275,761	664,230	409,466	10,000	
	決算額	(千円)	116,220	105,936	568,168	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	162	12,304	349,668	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	108,284	92,015	218,500	0	0
		その他	(千円)	7,774	1,617	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	20,140	14,713	14,713	14,713	14,713	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.90	2.10	2.10	2.10	2.10
		正職員時間外勤務	(時間)	171.40	148.70	168.42	168.42	168.42
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

指標名	事業進捗率（R3事業費見直しに伴い指標2へ移行）					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	
1	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	17.7	32.3	0.0	0.0	0.0
指標の概要	市の負担する計画時点の事業費に対し、支出した割合⇒事業費795,600千円（支出額 H29：6,381千円※R3修正、H30：32,280千円※R3修正、R1：102,493千円、R2：116,220千円）					

2	指標名	事業進捗率 (R3事業費見直し後)					()
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	25.8	66.1	0.0	0.0
	指標の概要	市の負担する計画時点の事業費に対し、支出した割合⇒事業費1,410,000千円(支出額 H29:6,381千円、H30:32,280千円、R1:102,493千円、R2:116,220千円、R3:105,936千円 R4:568,168千円)					
3	指標名						()
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名						()
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名						()
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	以下、前年度の課題について、ネクスコ東日本、茨城県及び国土交通省と協議を重ねた。 ・市直営工事(交差点改良・案内標識設置)の着工に向けた施工区域や方法等の調整 ・スマートIC供用開始後の排水管の維持管理区分の調整						
成果	・一般道交差点改良工事の設計業務を完了させた。 ・設置する案内標識のレイアウト等について、道路標識適正化委員会に諮り了承を得た。 ・未買収地を取得し、事業用地の取得に係る業務を完了させた。 ・ネクスコ東日本が、圏央道本線から一般道接続部までの切盛土工の工事に着手した。						
課題	業務	・市直営工事の施工区域は、ネクスコ東日本や茨城県が施工する各種工事の施工区域と錯綜する箇所があるため、工事発注後も関係機関との工程調整が欠かせない。 ・スマートIC供用開始後の排水管の維持管理区分について、関係機関と協議を継続していく必要がある。					
	組織、予算等	今後、ネクスコ東日本を含めた各種工事において、想定外の対策工事等が必要になった場合は、事業費が増加する可能性がある。					
改善目標	市直営工事の工程やスマートIC供用開始後の排水管の維持管理区分について、引き続き、ネクスコ東日本、茨城県及び国土交通省と調整を図り、スマートIC設置事業を円滑に進めていく。						

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	980 橋梁長寿命化修繕・耐震補強事業					
予算科目	01-080201-12 橋梁に要する経費			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	街路係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路法等			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民等
目的	老朽化した橋梁について、つくば市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の修繕等を行い、市民が快適で安全・安心を実感できるような都市基盤の整備を図る。
概要 (取組内容)	つくば市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の修繕工事を実施するとともに、阪神淡路大震災以前の耐震基準の橋梁に対し、耐震補強工事を実施する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	257,264	181,461	209,543	78,257	227,461	
	決算額	(千円)	202,660	140,883	165,271	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	13,026	16,687	24,385	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	189,634	124,196	140,886	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0	0	
人件費	人件費計	(千円)	9,162	13,104	12,962	8,642	8,642	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.30	1.80	1.80	1.20	1.20
		正職員時間外勤務	(時間)	131.10	330.10	287.97	191.98	191.98
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	長寿命化修繕工事 (橋)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	3.0	2.0	3.0	4.0	4.0	3.0
	実績	1.0	3.0	4.0	2.0	0.0	0.0
	指標の概要	長寿命化修繕工事が完了した橋梁数					

2	指標名	(橋)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	実績	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	耐震補強工事が完了した橋梁数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	今年度施工した橋梁は、河川橋であり渇水期内での施工が必要であったが、渇水期を考慮した発注に努め、概ね年度内に完成した。また、常磐自動車道跨道橋についてはNEXCOへの委託（協定）を打診したが、茨城県と調整中であるとのことから令和5年度の発注は見送った。今後もNEXCOへの打診を継続していく。
成果	つくば市長寿命化修繕計画に基づき、榎橋、房内橋の補修工事を完了させたことにより、車両及び歩行者の安全な通行を確保することができた。
課題	<p>業務 補助金を活用し、事業を推進しているが、補助要件に「新技術等の活用検討」が必須となったため、設計業務を実施する際には検討が必須となる。</p> <p>組織、予算等 つくば市管理の橋梁は588橋あり、「つくば市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき管理されているが、今後、多くの橋梁で高齢化が進み、修繕が必要な橋梁の増加が見込まれ、これに対応した体制が求められる。</p>
改善目標	河川橋の補修は、適正工期を確保するため発注時期を早める。常磐自動車道跨道橋の耐震補強は車線規制や他工事間調整が円滑に行えるNEXCOとの協定が必要なため、NEXCOへの打診を継続して進めていく。また、今後、修繕が必要な橋梁の増加が見込まれるため、組織体制についても検討を進める。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—